

問

弥富市のSDGsの取り組みは

エスディージェーズ

答

総合計画などの事業を確実に実行



高橋 八重典 議員 無党派

問 SDGsの市の認識は。

答 総務部長 「持続可能な開発目標」世界共通の17ゴール「目標」であると認識。

問 職員の理解と市の取り組みは。

答 SDGsの会議に出席し、職員間の情報交換を図りたい。開発目標の方向性と分野が合致するか検証。

問 駅前開発など、市長公約についての考えは。

答 市長 弥富市の顔となるよう積極的に進めたい。併せて財源確保のため企業誘致を進める。

問 市の施策にSDGsの理念をどのように反映するのか。

答 総務部長 各種計画の策定や改訂の際、理念を取り入れる。

問 市長の目指すSDGsに沿った考え方は。

答 市長 総合計画で掲げた目標と同じものが多くある。



▲国際連合広報センター SDGs 報告2019

<p>問 市街化調整区域内の定住促進策は</p>
<p>答 活力ある地域づくりを目指す</p>

問 市街化調整区域と兼業農家の現状認識は。

答 都市計画課長 農地の貸し出しをする農家が多い状況。後継ぎの美家離れも聞く。

問 市内の定住地域の展開の方向性は。

答 便利・快適に暮らせるコンパクトなまちづくりを目指す。

問 個人後継者向け奨励金制度設立の考えは。

答 総務部長 区域に限らず、新築後一定期間、固定資産税が減額。

問 後継者世代が親の自宅敷地内や、隣地などで住宅を新築することのメリット・デメリットを考慮した上での考えは。

答 両親、祖父母の見守り



▲親の自宅の敷地内で新築された住宅

などのメリットがある。ただし、利便性が悪いなどの要因もある。総合的に考えたい。

問 定住促進のための奨励金制度および特区設定の考えは。

答 都市計画課長 持続可能なコンパクトなまちづくりを目指すことから、特区設定は考えていない。